

## 平成29年第1回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに平成29年第1回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、ご多用中にもかかわらずご出席いただきまして、誠にありがとうございます。平成29年度の当初予算案をはじめとする関係議案のご審議をお願いするに当たり、市政運営の基本方針及び予算編成方針並びに主要施策についてご説明申し上げ、議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたく存じます。

### (平成29年度市政運営に当たっての基本的な考え方)

私は恵那市の市長として、昨年11月市民の皆様からご信任をいただき、就任いたしました。就任してから3ヶ月を迎えようとするところですが、恵那市政を預かる者として、その責任の重さを改めて痛感いたしているところでございます。これからも私たちが生まれ育ったこの恵那のまちに誇りと愛着を持ち、学び、働き、暮らし続けるために、誠心誠意、全力を傾注してまいり決意でございます。

昨年スタートしました第2次恵那市総合計画の内、とりわけ、子育て世代の移住・定住を促す施策や子どもを安心して産み育てられる環境を実現する施策については、4月から、市立恵那病院に産婦人科を設置するとともに、育児の不安を取り除くため、母親や乳児に対し、宿泊や日帰りによる「産後ケア事業」を、併せて妊娠・出産や子育てに悩みを抱える妊産婦の方には「産前・産後サポート事業」を、また、子どもが病気の際、自宅での保育が困難な場合に利用できる「病児保育事業」をスタートさせてまいります。

加えて、「はたらく」「たべる」「くらす」に重点をおいた政策に取り組んでまいります。「はたらく」については、新たに「恵那市産業振興会議」を設置し、多様な関係者の意見を反映させた事業を実施してまいります。また、交流人口の拡大及び地域経済の活性化のため、くしはら温泉ささゆりの湯のリニューアル工事を行うとともに、恵那峡再整備事業についても引き続き取り組んでまいります。

次に、「たべる」については、地元食材を利用した健幸料理コンテストの実施や健幸レシピ集を作成するなど「食べる」健康づくりを推進してまいります。

「くらす」については、定住に向けた取り組みとして、「恵那市住むとこさがすプロジェクト」を立ち上げ、関係機関より意見を集約し、恵那農業振興地域整備計画の見直しと土地利用を勘案しながら住宅適地の検討を行ってまいります。また、平成39年に開業予定のリニア中央新幹線を活かしたまちづくりを行うため、都市計画事業と併せて都市計画マスタープランの見直しを行い、道路網整備や住宅整備も含めて検討を行ってまいります。

### (平成29年度予算編成方針)

続きまして、平成29年度の予算編成方針及び予算総額についてご説明申し上げます。

ます。

わが国の経済は、企業収益は過去最高水準となり、就業者数は増加、実質賃金が上昇するなど雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いていると内閣府の月例経済報告では触れています。

政府は、一億総活躍社会の実現や働き方改革を進め、経済再生と財政健全化の両立を実現していくため、平成29年度一般会計予算案の総額を9兆7,547億円と閣議決定しました。また、地方財政対策においては、地方の安定的な財政運営に必要となる地方交付税等の一般財源総額については、平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう同水準を確保する措置が講じられております。

平成28年度の恵那市の財政状況は、固定資産税（償却資産）の増加を受けて市税全体で前年度比9,000万円程度の増額を見込むものの、法人市民税は2年連続で減少傾向を示しており、普通交付税は合併算定替による縮減を受けて同比4.2億円程度減少し、来年度以降も段階的に縮減される見込みであります。

また、平成27年度決算における各種財政指標（経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率）は、前年度より改善され、地方債残高も減少していますが、近隣市との比較からは、依然として財政力指数は低く、交付税や市債などの財源に依存する割合が高いなど、財政の硬直化が懸念される状況であります。

### **（平成29年度予算総額）**

平成29年度恵那市の予算額についてご説明申し上げます。

一般会計の歳入について、固定資産税は新築・増築家屋の増加や償却資産の増加により前年度比6,260万円増（1.9%増）を見込むものの、法人市民税の減少などにより市税全体で同比8,220万円減（1.2%減）の68億3,690万円と厳しい状況にあります。

さらに、地方交付税は合併算定替の縮減を受け同比2億円減（2.3%減）と見込み、基金を活用することで不足する一般財源を確保しながら、同比18億7,000万円減（6.7%減）の総額261億8,000万円の予算といたしました。

特別会計は、全体で同比6億2,510万円減（4.0%減）の総額150億6,280万円となりましたが、介護保険特別会計（事業勘定）では介護サービス給付費が増加し続けていることなどにより同比2億1,200万円（3.6%）増額し、公共下水道事業特別会計では正家第二土地区画整理事業地区において管渠工事を行うことなどにより同比1億1,000万円（7.2%）の増額といたしました。

企業会計は、全体で同比25億7,150万円減（18.8%減）の総額111億3,190万円となりましたが、水道事業会計では簡易水道事業の統合による減価償却費の増加などにより同比15億8,820万円増額し、病院事業会計では市立恵那病院の再整備事業に係る主な工事が終了したことから、同比41億8,370万円の減額といたしました。

<平成29年度の予算総額>

○一般会計	…	261億8,000万円	(対前年 6.7%減)
○特別会計	…	150億6,280万円	(対前年 4.0%減)
○企業会計	…	111億3,190万円	(対前年 18.8%減)
合計		523億7,470万円	(対前年 8.8%減)

**(平成29年度主要施策)**

それでは、平成29年度の主要な施策・事業について、第2次恵那市総合計画の施策の体系に沿って順次ご説明申し上げます。

(1. 安心して暮らす)

基本目標の第一は、「安心して暮らす」であります。

(①安心して子どもを育てる)

初めに「安心して子どもを育てる」についてご説明申し上げます。

昨年11月に開院した市立恵那病院に、産婦人科を設置し、安心して出産できる環境を整えてまいります。

また、妊娠を希望する夫婦を支援するために不妊治療の助成を引き続き行い、従来の妊婦健診費用の助成に加え、新たに妊娠中の歯科健診については市内の歯科医院で受診できるようにすることで受診率の向上を図ってまいります。

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をするため、宿泊や日帰りによる「産後ケア事業」をスタートさせます。併せて妊娠・出産や子育てに悩みを抱える妊産婦の方には、「産前・産後サポート事業」を開始いたします。加えて、子どもが病気の際、自宅での保育が困難な場合に利用できる「病児保育事業」をスタートさせ、病気回復期だけでなく、病気回復途上の子どもも含めた保育ニーズへの対応を図り安心して出産、子育てが出来る環境を整えてまいります。

誰もが安心して子育てができる教育・保育サービスの提供を行うため長島地区新こども園を整備し、働きながら安心して子育てできる環境づくりを進めるため「放課後児童クラブ」を拡充してまいります。また、事業所内保育事業について調査を実施し、ニーズにあわせて開設にかかる支援を行ってまいります。

(②安心して働ける)

次に、「安心して働ける」についてご説明申し上げます。

「まち」が存続するためには、働く場所をつくることが何より大切であるため、恵那西工業団地をはじめ、工業団地の整備を進めるなど企業誘致を進めてまいります。

す。また、市内企業への支援策を拡大し、更なる発展・活性化を図り、安定した雇用の場の確保に努めるとともに、空き家を活用したサテライトオフィスを整備し恵那で働きたいと思っていただけるような職場環境を整えてまいります。

#### (③健康を維持・増進する)

次に、「健康を維持・増進する」についてご説明申し上げます。

平成27年に宣言いたしました「健幸都市えな」宣言を実現するため、昨年度から開始した「エナ健幸ポイント制度」は、今年度より検診率向上を目指した内容を追加し推進してまいります。

また、市民の健康維持・増進を図るため、市が保有するデーターを基に、生活習慣病予防を重視した取り組みを進め、保健指導を推進してまいります。

#### (④日々の暮らしを守る)

次に、「日々の暮らしを守る」についてご説明申し上げます。

「シルバー生きがい創出事業」として、シルバー人材センターを支援することで高齢者に特化した生活支援事業を検討していただき、高齢者が元気に働き続け活躍できる場を創出してまいります。また、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように介護予防・生活支援に取り組んでまいります

### (2. 生命と財産を守る)

基本目標の第二は、「生命と財産を守る」であります。

#### (①医療と救急を充実する)

初めに「医療と救急を充実する」についてご説明申し上げます。

市立恵那病院や国保上矢作病院、6つの診療所において、市民が安心して医療を受けられるよう「病診連携」を強化してまいります。また、市立恵那病院の再整備事業については、最終造成工事を進めて、平成29年度末に全体事業の完了の見込みであります。

救急医療については、救急救命士・救急隊員の教育訓練計画に基づき隊員教育を行い、救急処置の高度化を行います。併せて、市民への応急手当啓発活動を積極的に展開し、知識や技術の習得を支援してまいります。

恵那北地区の救急体制の構築について、対応策の検討を行ってまいります。

#### (②犯罪や事故を防ぐ)

次に、「犯罪や事故を防ぐ」についてご説明申し上げます。

交通安全対策については、明智町吉良見地区内の国道363号の歩道整備などを行い、交通安全対策に取り組んでまいります。併せて、飲酒運転の撲滅、高齢者の交通安全対策について警察や関係団体との連携をさらに強化して取り組んでまいり

ます。また、日々、多様化する還付金詐欺や架空請求詐欺などの被害の増加を防ぐために、消費者生活相談窓口を設け、消費者の安全・安心を確保してまいります。

### (③災害から身を守る)

次に「災害から身を守る」についてご説明申し上げます。

防災体制については、地区防災計画に基づく防災活動及び資機材整備の補助支援を行い、防災倉庫と備蓄資機材を明智町の吉田こども園と明智文化センターに追加することで地域防災力の向上を図ってまいります。また、ゲリラ豪雨等に対応するため、東野、三郷町、武並町、笠置町、串原の市内5ヶ所に雨量計を設置し、民間の気象会社と連携し気象監視体制の強化を図ってまいります。

また、消防団による地域防災力の充実強化を図るため、串原分団森上器具庫の改修工事を行い、環境整備を進め消防団員の確保に努めるとともに、機能別消防団員の入団促進についても行ってまいります。

斜面の崩壊や落石から、生命や、施設を守るため、武並町竹折の中切地区において急傾斜地崩壊対策事業を進めてまいります。

### (3. まちの魅力を高める)

基本目標の第三は、「まちの魅力を高める」であります。

#### (①自然を守り、活かす)

初めに「自然を守り、活かす」についてご説明申し上げます。

森林の有する多面的機能の維持や災害防止のため、森林整備を実施してまいります。また、森林の大切さを理解してもらうため、間伐の必要性や木材の利用等について森林教育を推進してまいります。

#### (②魅力あるまち並みを創る)

次に、「魅力あるまち並みを創る」についてご説明申し上げます。

適正かつ合理的な土地利用の誘導を図るため、リニア中央新幹線沿線の整備等を含めた都市計画マスタープランの見直しを進め、中津川市・恵那市都市間連絡道路整備や、リニア沿線地域基盤整備などリニア効果を活かしたまちづくりを進めるとともに、(仮称) 恵那市リニア中央新幹線対策協議会を立ち上げてまいります。

また、平成28年10月に設立した「正家第二土地区画整理組合」の事業実施について支援を継続し、区域内の都市計画道路「赤田中曾根線」「寺平的ヶ屋敷線」についても整備を行ってまいります。

#### (③歴史・文化を活かす)

次に「歴史・文化を活かす」についてご説明申し上げます。

中山道や正家廃寺跡、岩村城下町をはじめとする文化財の調査や整備を行い、活

用に努めるとともに、学習機会を提供してまいります。また、市内各地で伝承されている地歌舞伎や獅子芝居、太鼓などの伝統芸能を発表する機会を設け、伝統芸能に携わる人たちの裾野の拡大と後継者の育成を図ってまいります。

#### (4. 便利に暮らす)

基本目標の第四は、「便利に暮らす」であります。

##### (①戦略的に道路をつくる)

初めに、「戦略的に道路をつくる」についてご説明申し上げます。

「国道19号瑞浪恵那道路」や「新丸山ダム建設事業における飯地町地内での付替国道418号」の整備促進と、「三河東美濃連絡道路」が地域高規格道路へ位置付けられるよう、関係機関への積極的な働きかけを行ってまいります。また、県事業では(主)豊田明智線(明智町大小屋工区)、国道418号(三郷町佐々良木工区)などの事業促進を図り、市道では、「飯地中野方線」や「大洞垂炭道路線」などの主要な道路整備を進めてまいります。

##### (②移動手段を充実する)

次に、「移動手段を充実する」についてご説明申し上げます。

「いいじ里山バス」が昨年10月から運行を開始いたしました。今後、串原についても同様な取り組みが出来るように支援を行ってまいります。また、明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づいて、明知鉄道やバス等の交通機関の連携を図るとともに、次世代につながる快適で円滑な公共交通となるように地域とともに取り組んでまいります。

##### (③便利な消費生活を送る)

次に、「便利な消費生活を送る」についてご説明申し上げます。

高齢者や日常生活の中で移動が困難な方が、いつまでも安心して住み続けられるように市内業者と協力して移動販売車を運行するなど、買い物環境の維持、充実に努めてまいります。

##### (④暮らしやすさを保つ)

次に「暮らしやすさを保つ」についてご説明申し上げます。

安全で安定した水道水を供給するため老朽管更新工事と、新たに大規模災害時に拠点となる病院や学校等避難所に水を届ける重要給水施設配水管整備工事により耐震化を進めてまいります。また、下水道については、引き続き岩村浄化センターの耐震補強工事を進めていくとともに、岩村町の避難所となる岩邑小学校に災害用マンホールトイレを設置してまいります。

道路橋りょう維持修繕事業では、長寿命化計画に基づき新観音寺橋のほか7橋に

ついて修繕や工事を行い、安全の確保を図ってまいります。

#### (5. いきいきと暮らす)

基本目標の第五は、「いきいきと暮らす」であります。

##### (①学ぶ力をつける)

初めに「学ぶ力をつける」についてご説明申し上げます。

児童生徒の学力向上を図るため、ICT教育、読書活動、英語教育の推進指定校を設定し、授業改善に取り組んでまいります。また、教育諸活動の充実・活性化については、学校運営協議会制度を活用し、恵那市型コミュニティ・スクールに取り組んでまいります。

高等教育の振興では、コーディネーターを置き、高校と地域、企業等との緊密な連携を図り、魅力ある高校づくりを支援します。

学校の再編については、教育委員会が恵那南地区中学校再編委員会から受けた答申を参酌し、引き続き検討してまいります。

小中学校施設改修事業については、武並小学校の屋内運動場の改築や恵那東中学校の大規模改修及び飯地小学校ほか7校において屋内運動場の非構造部材の耐震工事を行い、教育環境の充実と自然災害に備えてまいります。また、遠距離通学等対策では、老朽化した山岡小学校、恵那北中学校、上矢作小中学校のスクールバス3台を更新いたします。

開館10周年を迎える中央図書館では、「読書のまち」を目指して地域の読書活動を推進するとともに、生涯学習フォーラムと連携した記念行事を実施いたします。

##### (②共に生きる力をつける)

次に「共に生きる力をつける」についてご説明申し上げます。

すべての教育の出発点である家庭や地域の教育力の向上を図るため、家庭教育学級や子ども教室の充実を図ります。併せて、恵那市の将来を担う子ども・若者の現状の把握に努め、青少年育成市民会議や町民会議、子ども会の活動支援を通じて、青少年の育成を図ります。

また、地域課題に対応した「三学のまち講座」、実践女子学園をはじめとした連携協定による「大学連携講座」、先人の知恵を生かす「先人学習講座」を実施してまいります。

##### (③生きがいを持って暮らす)

次に、「生きがいを持って暮らす」についてご説明申し上げます。

運動・スポーツ分野では、平成28年3月策定の「恵那市スポーツ推進行動計画」に基づき、大学と連携し、乳幼児期から遊びや運動に親しむためのプログラムを実践するとともに、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進委員が中心となり「1地域1

運動・スポーツ」事業を広めてまいります。

豊かで健康な心を育むために、公益財団法人恵那市文化振興会と連携し、さまざまなジャンルの優れた芸術文化に触れる機会を提供してまいります。

#### (6. みんなでまちをつくる)

基本目標の第六は、「みんなでまちをつくる」であります。

##### (①まちの担い手になる)

初めに、「まちの担い手になる」についてご説明申し上げます。

子育て世代の住宅用地取得支援や同居・近居支援事業に取り組んでまいります。また、UIターン促進のため、定住奨励金や空き家改修補助などの助成を行うとともに、就職希望者・移住希望者への情報提供を積極的に行ってまいります。そして、まちづくりNPO法人等の支援にも力を注いでまいります。加えて、地域への「まちづくり推進員」の配置を進め、移住・定住の促進に努めてまいります。また、地域の拠点として、笠置、岩村地域においてコミュニティセンターの再整備を行ってまいります。

##### (②地域自治力を高める)

次に、「地域自治力を高める」についてご説明申し上げます。

地域での課題解決にむけた取り組みに対して、地域振興基金や、ふるさと応援寄付金等を活用し、地域のまちづくり活動補助金や地域自治区活動交付金により支援をしてまいります。そして、住民のまちづくりへの参画を促し、弾力的な地域自治区制度の展開を図ってまいります。

#### (7. まちを元気にする)

基本目標の第七は、「まちを元気にする」であります。

##### (①産業を育成・支援する)

初めに、「産業を育成・支援する」についてご説明申し上げます。

農業は恵那市の基幹産業であるため、「儲かる農業プロジェクト検討委員会」を立ち上げ、農産物の生産性や農業所得向上を図ってまいります。林業では、木の駅プロジェクトにより森林整備と地域経済の活性化を図ってまいります。

また、「恵那市産業振興会議」を開催するとともに、事業者のための総合相談窓口としての「ビジネスサポートセンター（仮称）」を設置いたします。

##### (②交流と連携で元気になる)

次に「交流と連携で元気になる」についてご説明申し上げます。

運動・スポーツ分野では、昨年度に引き続きクリスタルパーク恵那スケート場を活用したイベントを展開するほか、恵那峡ハーフマラソンや大正村クロスカントリー



一を開催するとともに、笠置峡においてポート・カヌーのキャンプ地誘致の事業を積極的に進めスポーツと観光を融合したスポーツツーリズムの視点から交流人口の拡大を目指してまいります。

また、恵那市内の観光地や観光資源を磨き上げ、誘客を強化するため、恵那峡再整備事業、くしはら温泉ささゆりの湯のリニューアル事業、上矢作町の道の駅再整備事業を行うとともに、首都圏観光プロモーションや広域連携により個々の観光資源を結びつけ、多様なニーズに対応した観光商品開発、岩村城下町や日本大正村などを含めた周遊ルートの設定を推進してまいります。

### (③持続可能型の社会をつくる)

次に「持続可能型の社会をつくる」についてご説明申し上げます。

環境対策については、環境負荷の低減に向けてごみ減量化・資源化意識の啓発を推進し、循環型社会の形成を図ってまいります。

学校給食で安全安心な地元産米や野菜の使用量の拡大など地産地消を積極的に推進し、地域の経済循環を促してまいります。

以上、平成29年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。第2次総合計画の着実な実現を目指すとともに、特に「はたらく」「たべる」「くらす」に重点を置き新しい恵那市の実現を目指してまいります。

議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

### (平成29年第1回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計45件であります。

議第1号及び議第2号は、条例の制定について、議第3号から議第14号及び議第45号は、条例の一部改正について、議第15号は、条例の廃止について、議第16号及び議第17号は、財産の無償譲渡についてであります。

議第18号から議第22号までの5件は人事案件であり、議第18号恵那市副市長の選任については、地方自治法第162条の規定により、大塩康彦氏を選任することについて議会の同意をお願いするものであります。

次に、人権擁護委員の候補者の推薦については、議第19号で、現委員である浅井峯子氏の任期満了に伴い、新たに鈴木八枝子氏を、議第20号では、現委員である舘林繁伸氏の任期満了に伴い、再び同氏を、議第21号では、現委員である加藤憲治氏の任期満了に伴い、新たに鈴木雅博氏を、議第22号では、現委員である堀恒夫氏の任期満了に伴い、再び同氏を委員に推薦することについて議会の意見をお願いするものであります。

また、議第23号から議第32号までについては、平成28年度恵那市一般会計

及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で7億1,283万6千円の増額補正を行い一般会計の歳入歳出総額を歳入歳出それぞれ306億9,985万7千円とするものであり、特別会計補正予算では、全体で4億5,640万9千円の減額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を歳入歳出それぞれ155億2,915万3千円とするものであります。企業会計では、全体で10億158万1千円の減額補正を行い、企業会計支出総額を127億2,406万2千円とするものであります。

議第33号から議第44号までの議案については、前述した主要施策に基づく平成29年度の恵那市一般会計、特別会計、企業会計に係る予算について議決をお願いするものです。

以上で提出議案の説明を終わります。なお、詳細につきましては、担当部長などから説明をさせますのでよろしくご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年2月23日

恵那市長 小坂 喬峰